

あなたの冬道での転倒体験、教えてください！ ～令和6年度冬期に冬道で転倒した体験を是非お聞かせください～

一般社団法人北海道開発技術センターは、ウインターライフ推進協議会における冬道での歩行者転倒防止啓発活動の一環として、冬道での転倒事故の実態把握を目的としたアンケート調査を実施しています。

1. 概要

積雪寒冷地では冬道での転倒事故が後を絶たず、昨冬の札幌市の転倒事故による救急搬送者数が過去最高を記録するなど、社会問題化している現状にあります。

ウインターライフ推進協議会では産学官の連携のもと、歩行者の冬道での転倒事故防止のために様々な普及啓発活動を進めていますが、転倒した際（発生時）の詳細な情報が欠かせないことから、転倒事故状況に関するアンケート調査を実施しております。調査結果は、より効果的な冬道転倒防止の啓発資料等に活用させていただく予定です。

つきましては、実際に転倒された方の貴重な転倒体験を教えてくださいたく、広く皆様へのご周知の程、何卒宜しくお願いいたします。

2. 調査内容

調査対象者： **今冬期**（令和6年11月1日～令和7年3月末まで）に**冬道で実際に転倒された方**

調査期間： 2025年**4月7日（水）17時まで**

調査内容： 転倒した地域／転倒した場所／転んだ場所の路面状況
 ・ケガの有無／ケガをした場所／ケガの種類／ケガの程度／救急車搬送の有無
 ・路面が滑ったかどうか
 ・転んだ際の行動／転んだ際の歩き方／転んだ際の服装や装備 など

回答方法： 下記のURLまたは左のQRからご回答ください。
<https://x.gd/qn8Q9>



アンケートページ

ウインターライフ運営サイト『転ばないコツおしえます』のトップページのアンケートバナーからもご確認いただけます。<https://tsuruturu.jp/>

★2回以上転倒された方は、各転倒体験についてそれぞれ回答をお願いします。
 →1つの体験を入力して送信してから、2回目以降の転倒体験を入力して送信をお願いいたします。

実施主体：（一社）北海道開発技術センター

3. お問い合わせ

（一社）北海道開発技術センター
 （ウインターライフ推進協議会事務局）
 担当：富田・永田・金田
 tel：011-738-3363
 E-mail：tomita@decnet.or.jp（富田）



★現在までの集計結果を速報版として「別添」にて同封しております。是非、ご参照ください。

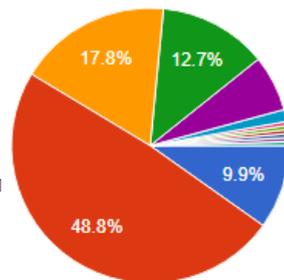
冬道での転倒体験アンケート・2024年度冬期 【途中集計速報版】

★2025年3月14日（金）17時まで回答の集計結果（速報）です。

- 回答数 214件（うち、男性127件／女性87件）
- 居住地 北海道190件、関東15件、東北3件、他

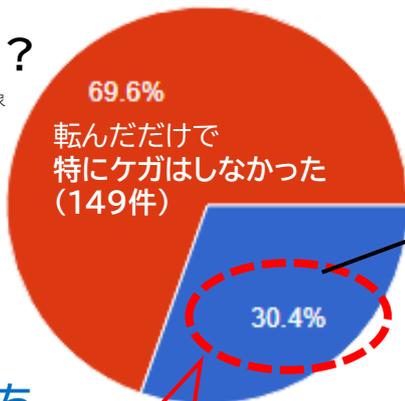
■転倒した場所

- 横断歩道
- 歩道
- 車道
- 駐車場や敷地
- 建物や地下歩道などの出入口
- タイル張りの店舗や地下街などの屋内
- 不明
- 道路、歩道、等あらゆる場所で



■転んでケガをしたか？

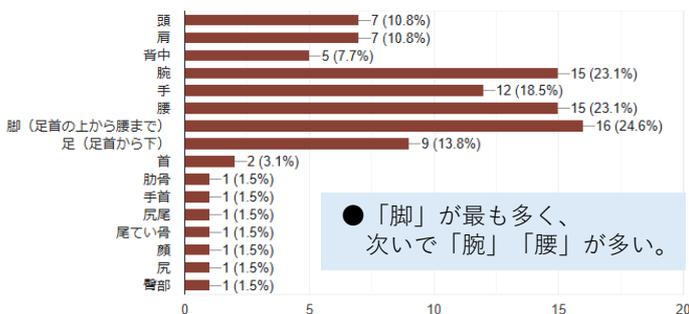
※擦り傷・切り傷や軽い打撲もケガの対象



●約3割の人がケガに繋がっている。

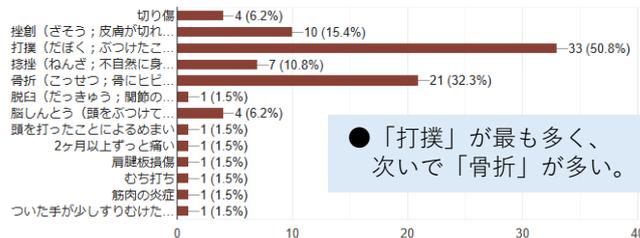
■「ケガをした」の回答のうち

■ケガをした体の部分(場所)(複数回答)



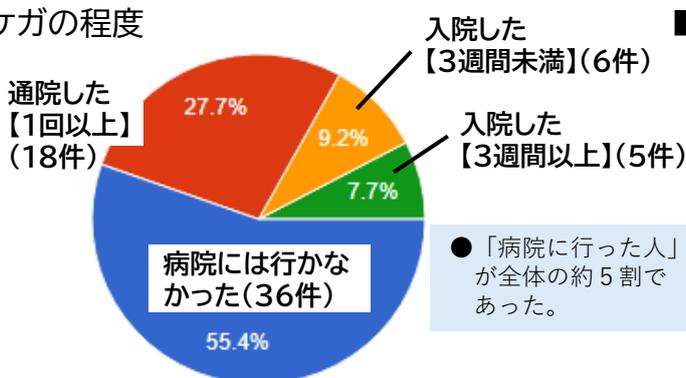
●「脚」が最も多く、次いで「腕」「腰」が多い。

■ケガの種類(複数回答)



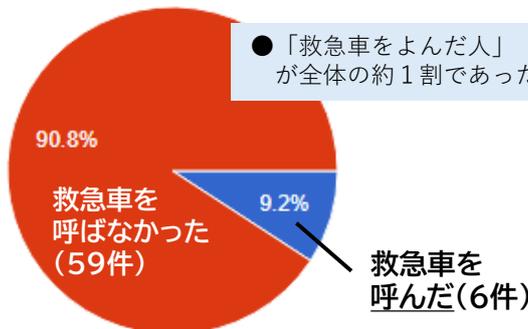
●「打撲」が最も多く、次いで「骨折」が多い。

■ケガの程度



●「病院に行った人」が全体の約5割であった。

■転倒した際に救急車を呼んだか



●「救急車をよんだ人」が全体の約1割であった。

■転んだ時の行動(複数回答)

- 「足元(路面)を見ていなかった」(64件)
- 「片手に荷物を持っていた」(47件)
- 「急いでいた」(36件)

●その他では、「考え事をしていた」「スマホをみていた」が多くあった。

■転んだ時の歩き方(意識)

- 「特に歩き方は意識していなかった」(99件)
- 「雪道にあった歩き方を意識して歩いていた」(115件)

●自由記述では、「一步一步慎重に歩いていた」「足をあまり上げすぎない」「小幅でゆっくり」などがあつた。